

2018（平成30）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号
学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,355,510,000	1,500,785,054	△ 145,275,054
手数料収入	14,550,000	14,971,208	△ 421,208
寄付金収入	300,000	237,300	62,700
補助金収入	144,720,000	145,482,757	△ 762,757
付随事業収入	571,300,000	530,898,673	40,401,327
受取利息収入	0	701,941	△ 701,941
雑収入	192,920,000	74,753,520	118,166,480
借入金等収入	200,000,000	100,000,000	100,000,000
前受金収入	419,000,000	379,074,514	39,925,486
その他の収入	70,000,000	64,147,438	5,852,562
資金収入調整勘定	△ 439,000,000	△ 496,226,311	57,226,311
前年度繰越支払資金	499,634,050	499,634,050	0
収入の部合計	3,028,934,050	2,814,460,144	214,473,906

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,536,920,000	1,485,639,657	51,280,343
教育研究経費支出	431,370,000	396,547,400	34,822,600
管理経費支出	261,560,000	291,738,350	△ 30,178,350
借入金等返済支出	33,090,000	37,229,320	△ 4,139,320
施設関係支出	220,000,000	104,861,160	115,138,840
設備関係支出	0	15,405,110	△ 15,405,110
その他の支出	110,000,000	185,389,654	△ 75,389,654
資金支出調整勘定	△ 150,000,000	△ 160,893,219	10,893,219
次年度繰越支払資金	585,994,050	458,542,712	127,451,338
支出の部合計	3,028,934,050	2,814,460,144	214,473,906

事業活動収支計算書

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,355,510,000	1,500,785,054	△ 145,275,054
		手数料	14,550,000	14,971,208	△ 421,208
		寄付金	300,000	237,300	62,700
		補助金	144,720,000	145,482,757	△ 762,757
		付随事業収入	571,300,000	530,898,673	40,401,327
		雑収入	192,920,000	74,753,520	118,166,480
		教育活動収入計(1)	2,279,300,000	2,267,128,512	12,171,488
教育活動収支	支出	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	1,536,920,000	1,477,887,878	59,032,122
		教育研究経費	533,420,000	495,485,792	37,934,208
		管理経費	271,470,000	305,140,807	△ 33,670,807
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計(2)	2,341,810,000	2,278,514,477	63,295,523
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)			△ 62,510,000	△ 11,385,965	△ 51,124,035
教育活動外収支	収入	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息	0	701,941	△ 701,941
		教育活動外収入計(4)	0	701,941	△ 701,941
		借入金等利息	1,240,000	1,641,320	△ 401,320
		教育活動外支出計(5)	1,240,000	1,641,320	△ 401,320
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)			△ 1,240,000	△ 939,379	△ 300,621
経常収支差額(7)=(3)+(6)			△ 63,750,000	△ 12,325,344	△ 51,424,656
特別収支	収入	科 目	予 算	決 算	差 異
		その他の特別収入	0	0	0
		施設設備寄付金	0	0	0
	特別収入計(8)	0	0	0	
	支出	その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計(9)	0	0	0
特別収支差額(10)=(8)-(9)			0	0	0
予備費(11)			0		0
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(9)-(11)			△ 63,750,000	△ 12,325,344	△ 51,424,656
基本金組入額合計(13)			0	△ 14,521,688	14,521,688
当年度収支差額(14)=(12)+(13)			△ 63,750,000	△ 26,847,032	△ 36,902,968
前年度繰越収支差額			△ 3,630,952,589	△ 3,630,952,589	0

貸借対照表

2019年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,841,073,114	3,843,147,693	△ 2,074,579
(有形固定資産)	(3,551,684,326)	(3,541,622,497)	(10,061,829)
(その他の固定資産)	(289,388,788)	(301,525,196)	△ 12,136,408
流動資産	609,661,269	604,943,355	4,717,914
資産の部合計	4,450,734,383	4,448,091,048	2,643,335
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	460,863,909	425,742,288	35,121,621
流動負債	581,673,161	601,826,103	△ 20,152,942
負債の部合計	1,042,537,070	1,027,568,391	14,968,679
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	7,065,996,934	7,051,475,246	14,521,688
繰越収支差額	△ 3,657,799,621	△ 3,630,952,589	△ 26,847,032
翌年度繰越収支差額	△ 3,657,799,621	△ 3,630,952,589	△ 26,847,032
純資産の部合計	3,408,197,313	3,420,522,657	△ 12,325,344
負債及び純資産の部合計	4,450,734,383	4,448,091,048	2,643,335

第2号様式(第13条関係)

資金収支内訳表

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	338,301,323	386,208,281	239,697,259	413,161,237	123,416,954	536,578,191	1,500,785,054
手数料収入		0	2,235,000	5,089,600	2,581,070	2,818,000	2,247,538	5,065,538	14,971,208
寄付金収入		0	0	0	75,000	70,000	92,300	162,300	237,300
補助金収入		0	13,321,000	0	51,716,217	1,144,304	79,301,236	80,445,540	145,482,757
付随事業収入		109,669,311	19,398,301	148,636,238	0	206,307,751	46,887,072	253,194,823	530,898,673
受取利息収入		701,941	0	0	0	0	0	0	701,941
雑収入		148,054	15,321	4,048,903	139,740	69,917,386	484,116	70,401,502	74,753,520
借入金等収入		100,000,000	0	0	0	0	0	0	100,000,000
計		210,519,306	373,270,945	543,983,022	294,209,286	693,418,678	252,429,216	945,847,894	2,367,830,453

支出の部

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
人件費支出		135,161,768	283,884,496	306,704,844	163,804,268	435,123,728	160,960,553	596,084,281	1,485,639,657
教育研究経費支出		0	78,537,292	83,559,355	53,689,189	141,196,330	39,565,234	180,761,564	396,547,400
管理経費支出		108,729,227	17,078,567	20,551,335	16,925,987	112,070,606	16,382,628	128,453,234	291,738,350
借入金等返済支出		26,857,418	0	0	0	7,412,534	2,959,368	10,371,902	37,229,320
施設関係支出		103,565,160	0	0	1,296,000	0	0	0	104,861,160
設備関係支出		2,946,499	4,997,160	0	1,753,104	904,662	4,803,685	5,708,347	15,405,110
計		377,260,072	384,497,515	410,815,534	237,468,548	696,707,860	224,671,468	921,379,328	2,331,420,997

事業活動収支内訳表

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

(単位 円)

	部門	科目					総額	
		学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA 国際専門学校		
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	0	338,301,323	386,208,281	239,697,259	536,578,191	1,500,785,054
		手数料	0	2,235,000	5,089,600	2,581,070	5,065,538	14,971,208
		寄付金	0	0	0	75,000	162,300	237,300
		経常費等補助金	0	13,321,000	0	51,716,217	80,445,540	145,482,757
		付随事業収入	109,669,311	19,398,301	148,636,238	0	253,194,823	530,898,673
		雑収入	148,054	15,321	4,048,903	139,740	70,401,502	74,753,520
		教育活動収入計	109,817,365	373,270,945	543,983,022	294,209,286	945,847,894	2,267,128,512
	支出	人件費	140,161,786	256,357,760	309,664,972	168,647,519	603,055,841	1,477,887,878
		教育研究経費	0	85,364,422	109,392,235	63,070,699	237,658,436	495,485,792
		管理経費	109,571,827	17,837,137	23,421,655	17,968,377	136,341,811	305,140,807
		徴収不能額等	0	0	0	0	0	0
			教育活動支出計	249,733,613	359,559,319	442,478,862	249,686,595	977,056,088
		教育活動収支差額	△ 139,916,248	13,711,626	101,504,160	44,522,691	△ 31,208,194	△ 11,385,965
教育活動外収支	収入	受取利息	701,941	0	0	0	0	701,941
		教育活動外収入計	701,941	0	0	0	0	701,941
	支出	借入金等利息	619,418	0	0	0	1,021,902	1,641,320
		教育活動外支出計	619,418	0	0	0	1,021,902	1,641,320
	教育活動外収支差額	82,523	0	0	0	△ 1,021,902	△ 939,379	
	経常収支差額	△ 139,833,725	13,711,626	101,504,160	44,522,691	△ 32,230,096	△ 12,325,344	
特別収支	収入	その他の特別収入	0	0	0	0	0	0
		特別収入計	0	0	0	0	0	0
	支出	その他の特別支出	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	0	0	0	0
	特別収支差額	0	0	0	0	0	0	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 139,833,725	13,711,626	101,504,160	44,522,691	△ 32,230,096	△ 12,325,344	
	基本金組入額合計	0	0	0	0	△ 14,521,688	△ 14,521,688	
	当年度収支差額	△ 139,833,725	13,711,626	101,504,160	44,522,691	△ 46,751,784	△ 26,847,032	

学校法人 大阪YMCA
財 産 目 録

(2019年3月31日現在)

I 資産総額		金	4,450,734,383 円
内	1 基本財産	金	3,205,918,867 円
	①土地		1,088,072,424 円
	②建物		2,109,543,960 円
	③その他		8,302,483 円
	2 運用財産	金	1,244,815,516 円
	①固定資産		635,154,247 円
	②流動資産		609,661,269 円
II 負債総額		金	1,042,537,070 円
内	1 固定負債		460,863,909 円
	2 流動負債		581,673,161 円
III 正味財産		金	3,408,197,313 円

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMCA 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

- (1) YMCA学院高等学校
通信制課程（単位制） 総合学科
- (2) 大阪YMCA学院 総合日本語学科、実用日本語学科
- (3) 大阪YMCA国際専門学校
外国語専門課程 英米語学科、英米語専攻科
日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース
進学日本語学科
ビジネス専門課程 国際ホテル学科、国際ビジネス学科
国際高等課程 国際学科、表現・コミュニケーション学科
教育福祉専門課程 スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科
- (4) 大阪YMCAインターナショナルスクール
幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMCA学院高等学校

課程	学科	学則定員
通信制課程（単位制）	総合学科	1,750

(2) 大阪YMCA学院

学科	学則定員
総合日本語学科（1年コース）	40
総合日本語学科（1年半コース）	40
総合日本語学科（2年コース）	40
実用日本語学科（2年午前コース）	130
実用日本語学科（2年午後コース）	130
合計	380

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス学科	200
小 計		200
合 計		1,005

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科名	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合 計	245

3 役員・教職員の人数（平成30年5月1日現在）

(1) 役員

理事 8人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専任			非常勤	任期制	合 計
	教員	助手	計	講 師	助 手	
通信制課程	12	0	12	115	0	127

大阪YMCA学院

	専任			非常勤	任期制	合 計
	教員	助手	計	講 師	助 手	
文化教養	7	0	7	60	0	67

大阪YMCA国際専門学校

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
ビジネス専門課程	2	0	2	16	0	18
国際高等課程	18	1	19	54	0	73
外国語専門課程	16	0	16	138	9	163
教育社会福祉専門課程	1	1	2	9	0	11
合計	37	2	39	217	9	265

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
文化教養	18	5	22	6	1	29

(3) 職員

区分	専任職員	兼務職員	合計
YMCA学院高等学校	4	0	4
大阪YMCA学院	10	0	10
大阪YMCA国際専門学校	23	15	38
大阪YMCAインターナショナルスクール	11	1	12
合計	48	16	64

II 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISION（VISION2020）を10年単位で策定しています。大阪YMCA VISION2020の願いは、

- 1) ネットワーク型福祉社会を実現する（＝人が繋がるあたたかな社会を作る）
- 2) 未来に希望を持ちチェンジメーカーとなる青年を育む（＝社会をよりよく変えていく）の2つです。

とりわけ学校法人は、時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。また、グループ法人との連携を密にして、他法人を社会経験の場として利用しながら、学校法人の教育効果を高めています。

大阪YMCAの学校事業の目標は、

- 1) Global Leadership Development 今後のグローバル社会の進展を鑑みて、その推進者となりえる青少年を育成する。
- 2) Youth Development 不登校や発達障害児童など、課題を抱えている青少年に対しての居場所として、彼らを受け止め、次のステージへと誘導していく。

3) Social Responsibility 大阪YMCA他法人との対象領域別の連携を強化し、社会のニーズに対応したプログラム展開（子育て支援・シニア事業・多文化共生・放課後デイ・児童デイ・学童保育など）を推進する。

以上の3分野を学校法人が力点を置いている分野として明確にすることにより、地域・保護者の理解を得ると同時に、教職員の働く上でのモチベーションの強化にもつながっています。

結果として、すべての事業において安定して生徒数を確保しました。特に今年度は平成31年開設の公設民営の国際バカロレア校の開校準備に注力した1年でありました。平成32年に開設予定の国際学科DPコースにより、大阪YMCAインターナショナルスクールの中等部の生徒数が伸びたこともあわせて、今後の事業展開に大きな後押しとなると考えています。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

(1) 平成29年度（2017年度）は留学生事業・高校生事業・国際／語学事業の3領域で区分していたものを、平成31年度（2019年度）開校の公設民営の国際バカロレア校を含め、ガバナンスを下記のように再構築する。

留学生事業・高校生事業・語学事業・国際事業

ガバナンスを再構築したことで、適切なリーダーシップが図られました。特に、国際事業に大阪YMCAインターナショナルスクールと国際バカロレアディプロマコース設置予定である公設民営中高一貫校開設準備室をグループ化したことにより、国際事業の包括的な管理運営が可能となり、人的・物理的に推進がはかられました。

(2) 公設民営中高一貫校の指定管理運営受託を起爆剤とし、大阪のグローバル教育のフラグシップとなるべく、公設民営中高一貫校設立準備室を中心にしたグローバル教育機関をめざす。

① 国際社会で活躍し、大阪の経済成長をけん引する人材を育てる。

② 子どもたちが、グローバルな視野に立って、優れた英語運用能力を身につけ、主体的に行動できる人間へと成長できる。

③ 先進的な教育プログラムと新たな学校運営のスタイルをもつ学校として、子どもたちの多様なニーズに応える。

以上のアドミッションポリシーを持つ公設民営中高一貫校「大阪市立水都国際中学校高等学校」開設準備の年となりました。21世紀型教育・国際バカロレア教育を紹介するワークショップ開催はその一端となり、今後、大阪府下の青少年を育成するグローバル教育機関の一步となりました。

(3) 2020年に開設を検討している大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科内の国際バカロレアディプロマ(DP)コースについて、従来の国際学科と新コースのポジショニングの検討を行う。

上記のDPコースは国際事業に位置付け、準備をスタートいたしました。従来の国際学科とは対象とする生徒のすみ分けを明確にします。また両コースで協働できるものを探ることによって、生徒にとってより良い学びになることの検討も始めています。

- (4) 国際語学事業と留学生事業との連関関係を強化し、アジアだけではなく欧米、オセアニア諸国などへ視野を広げて募集やインターンを受け入れる。多様化・多国籍化した教職員・生徒に対して、グローバルスタンダードに基づいた環境を提供し、国籍の枠にとられないグローバルな感覚をもった教職員および生徒を育成する。

平成30年度(2018年度)はオーストラリアメルボルンから、ニューコロンボプランの一環で大学生3名を大阪YMCA学院での受け入れを開始いたしました。令和元年(2019年度)も継続して実施をいたします。国際語学事業と留学生事業には100名以上の日本以外の国籍を持つ教職員が働いており、また常時30以上の国と地域からの留学生を受け入れ、多国籍で様々な文化背景を持つ人が集う環境となっており、互いを知り、認め、受けとめる教育を各教育現場で行なっております。

- (5) 発達支援事業については、学校法人だけではなく他法人との連携を取りながら、発達支援事業の総合的な計画を作成する。合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育の実践教育機関として、すべての青少年に対して安心できる環境を提供し、自己肯定感をもつ青少年を育て、社会への啓発を行う。

法人内に設置している総合教育センターでは、年間を通して「発達相談・カウンセリング」「教育セミナー」を行っています。また学校法人や他法人とも連携をとりながら、定期的な巡回相談等も行うことにより、インクルーシブ教育の推進になっています。それ以外に、教職員、スタッフのセーフティネットになっており、質の高い活動を児童・生徒・学生に提供できる一因となっております。特に高校生事業においては、ICTを活用した合理的配慮が一步進みました。

- (6) 統括本部と協働で、人事制度を整備し、人事体制を強化する。外国籍人材の積極的な雇用の推進や英語圏のYMCAを中心としてスタッフ交流を推進する。

平成30年度に就業規則を見直し、平成31年度施行につなげました。海外からの外国籍人材約30名のインターンシップを各現場に送り込みを行うことにより、外国人と共に働くことも当法人では、通常の状態になりました。総合職にも外国籍人材の応募が常となり、外国人教員以外の外国籍スタッフの数も増えてきております。オーストラリアなど英語圏のYMCAからは長期のスタッフ受入れや、スタッフとの交流も年々推進しております。

Ⅲ 財務の概要

平成30年度決算の概要

(1) 資金収支計算書

① 収入の部

留学生事業、国際・語学事業（大阪YMCA学院、大阪YMCAインターナショナルスクール）が過去最高の学生生徒数を確保いたしました。決算は予算には達しませんでした。主な要因は借入金収入の減少のためでした。

② 支出の部

公設民営中高一貫校の開設準備のための人件費、修繕費の支出が増額となりました。また大阪YMCA国際専門学校とインターナショナルスクールの学生生徒用机・椅子の購入等学生生徒のための環境整備を行いました。予算に対しましては、広報費等事業活動支出の減額により減少しました。

(2) 事業活動収支計算書

① 事業活動収入の部

留学生事業、国際・語学事業（大阪YMCA学院、大阪YMCAインターナショナルスクール）のほとんどが過去最高の学生生徒数を確保し、高校生事業も堅調でした。

② 事業活動支出の部

公設民営中高一貫校の開設準備のための人件費、修繕費の支出が増額となりました。また大阪YMCA国際専門学校とインターナショナルスクールの学生生徒用机・椅子の購入等学生生徒のための環境整備を行いました。予算に対しましては、広報費等事業活動支出の減額により減少しました。

(3) 貸借対照表

① 資産の部

固定資産は大阪YMCA国際専門学校・インターナショナルスクールの学生生徒用の机・椅子の購入により9,983,669円が増額となりました。

② 負債の部

固定負債は長期借入金が増額となりました。

③ 基本金の部

基本金は14,521,688円繰り入れを行いました。

④ 事業活動収支差額の部

留学生事業・高校生事業・語学事業は順調で事業活動収支差額をしました。しかし公設民営中高一貫校準備開設室の人件費等に支出が増え、決算として-12,325,344円となりました。

IV 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。また教育界の急速の変化に対応すべく、教育内容をさらに充実させ、全ての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。その中で、全国初の公設民営中高一貫校である大阪市立水都国際中学校高等学校の指定管理運営受託は学校事業全体の大きな起爆剤となると考えています。YMCAが得意としているアクティブラーニングなどの21世紀型教育を進める手法は、すでに各事業で実施していますが、人を育むためにより進めていきたいと考えています。再生に力をいれてきた学院高等学校は、学習指導要領改訂にあわせた教育改革に行いながら、増えてきた中学卒業後すぐに入学する生徒たちへのサポートシステムの充実を図ることも必要となっています。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で800名を超える児童・生徒・学生が在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・生徒・学生を支援する取り組みのより一層の充実が課題となっています。

特に不登校や発達障がいのある児童・生徒の数は増えており、ますます合理的配慮を含めた対応が求められてきております。多様化している児童・生徒・学生に寄り添いながら、個々の目的と特性に基づいた適切な対応が必要となってきています。パイオニア的にこのことを進めてきました当法人は、啓発活動も行っていくことも求められています。教職員のバーンアウトを防ぐ仕組みも必要です。

新設された「特定技能」をはじめとした就労ビザを取得し在留する外国人が増えてまいりますが、日本語指導を必要とする人たちは増加します。そこへの課題にも今後取り組んでいきたいと考えています。

監査報告書

2019年5月20日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末岡 祥弘 殿

監事

萩原 義明

監事

文孝 文男

監事

松尾 博之

私たちは、学校法人大阪YMCAの2018年度（2018年4月1日より2019年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われているものと認めます。

以上